

学校関係者評価委員会

11月9日、学校関係者評価委員会を開催しました。学校評価とは、学校教育目標に向けた教育活動や学校運営について、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を評価委員の皆さんに評価していただき、学校として組織的・継続的な改善を図り、学校・家庭・地域が連携した開かれた学校づくりを進めるために実施するものです。



鳥井小では9名の方を評価委員に、年3回の評価委員会を開催しており、学校や子どもたちの様子を見ていただき、気になったことなどを協議していただいています。



7月に開催した1回目の会では、複式学級での授業の様子から、子どもたちが主体的に学習を進めていくことの良さを認めていただいたり、発表態度の良さをほめていただいたりしました。また、姿勢が気になったので机といすの高さ調整が必要であることや交通安全指導を徹底してほしいなどの意見も出されました。

安全指導については、夏休み前という時期でもあったため各学級で再度指導するとともに、机・椅子の調整は、子どもの身体の成長に合わせ速やかに行うよう確認しました。

9日の2回目の会では、学校や子どもたちの様子を見ていただくとともに、大田市教育委員会から「コミュニティスクール～地域とともにある学校づくり～」についての話をいただきました。

大田市では、「学校運営協議会を全ての小・中学校に設置し、地域住民等が主体的に学校運営に参画できる仕組みをつくり、子どもも大人も学び合う教育体制を実現するため、令和4年度までにすべての小・中学校を『コミュニティスクール』とします。(～より良い教育環境を目指して～学校のあり方に関する実施計画 大田市教育委員会 令和3年2月より)」としています。



鳥井小でも、今後、コミュニティスクールに向けた準備を進めていく予定です。

「コミュニティスクール」

地域住民や保護者の代表によって構成された「学校運営協議会」が設置された学校のこと。

「学校運営協議会」において、学校運営方針の承認や意見交換等を行い、学校と地域住民、保護者が力をあわせて地域とともにある学校づくりを推進していくことにより、学校と地域の関係の深まりが期待でき、地域への愛着の自覚、防犯・防災の観点からも学校と地域にとって有益であると考えられている。

また、学校教育を通じて地域社会そのものを創っていくという考えに発展させることで、まちづくりにもつながるとされている。

(～より良い教育環境を目指して～学校のあり方に関する実施計画 大田市教育委員会 令和3年2月より)